

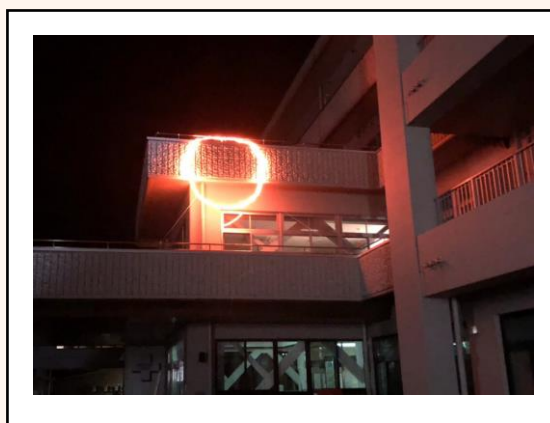
認知症疾患医療センター

センター通信



9月21日は
世界アルツハイマーデー
9月は世界アルツハイマー月間

イベントを開催致しました



病院正面にオレンジリングの
ライトアップ (9/19~9/23)



病院正面入り口に
横断幕設置



高ボッチ高原FM (89.4MHz) 様と
共同で特別番組を制作・放送

世界アルツハイマー月間特番②
「聞きたい! 知りたい!
認知症の話2023」

認知症フォーラム

令和5年度 認知症疾患医療センター 認知症フォーラム
 主催：桔梗ヶ原病院認知症疾患医療センター
 共催：長野県立木曾病院認知症疾患医療センター
 後援：木曾広域連合、木曾町

メインテーマ
「『早期』っていつのこと？」

認知症の早期発見、早期治療が大切であることは様々な場所で言われていますが、物忘れと認知症の区別は難しく「『早期』というのがどのタイミングから分らない」という声が多く聞かれます。
 実際に認知症の介護を経験されたご家族の体験談から、認知症の相談や受診のタイミングについて皆さまと一緒に考えます。

<プログラム>
 I 講演 「認知症の経過と早期発見の大切さについて」
 桔梗ヶ原病院認知症疾患医療センター長 園原 和樹 医師
 II 情報提供 「来院者の特性について」
 木曾病院認知症疾患医療センター 新里 渉 看護師
 III 対談 「私の介護体験と早期発見」
 認知症のひとと家族の会長長野支部 塩尻地区会 かいご・塩尻 世話人 薄田 勝美 様

🕒 日 時 2023年9月21日(木) 15:00~16:30
 📍 場 所 木曾町文化交流センター 多目的ホール
 (木曾郡木曾町福島5129番地)



世話人の薄田様

認知症になってもその人の人生を認めてあげて欲しい、本人に恥をかかせないケアをして欲しいと意見を頂きました。



当日は雨天の中多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。園原先生からは認知症疾患は残された時間を知ることができる疾患であること、また初めに変だなと思った時が早期であり誰かに相談するタイミングであると教えて頂きました。

新里様からは木曾圏域では初診時の年齢が比較的高いですが、認知症の一手手前の軽度認知障害という診断が多い実情を事例を交えて教えて頂きました。

そして薄田様からは早期からの介入のおかげで、介護施設に入所された後も穏やかな時間を過ごせた体験を語って頂きました。

本フォーラムから認知症の早期発見・早期治療に繋がり、全ての方にとって穏やかに過ごせるヒントを受け取って頂ければ幸いです。

【認知症の薬物療法①薬を飲むときの心得】

専門医 園原和樹 先生

行った後、病気ごとに適切な薬を選択することが重要となります。

I. 薬物療法と非薬物療法

認知症の治療方法には薬を使って病気を治療する薬物療法と、薬を使わないで病気にアプローチする非薬物療法の2つが存在します。

認知症に対する非薬物療法は、薬以外の方法で病気にアプローチする治療方法です。デイサービスやデイケア、リハビリテーション、回想法、音楽療法といった方法を用いて、医療者が認知症高齢者に関わりを持ち、心に寄り添うことで認知症の症状を緩和させます。

薬の副作用に注意することについては、高齢者は肝臓や腎臓などの臓器の機能が低下しており、薬の服用により副作用を来しやすいと言われています。加えて、高齢者では高血圧や糖尿病などの薬を服用していることが多く、複数の薬を一緒に服用することで薬の副作用が出現しやすくなります。よって、認知症に対する薬物療法では患者がどのような薬を飲んでいるかをあらかじめ把握し、患者にあわせて薬の投与量を調整して、薬の副作用起きないように努める必要があります。

II. 認知症に対する薬物療法

認知症に対する薬物療法は、点滴や内服薬といった薬を使用して病気を治療する方法です。認知症の薬物療法では（1）原因となった病気を特定して適切な薬を使用すること、（2）薬の副作用に注意すること、（3）定期的に薬を飲むことのできる環境作りを行うことが重要となります。

原因となった病気を特定して適切な薬を使用することについては、認知症にはアルツハイマー型認知症の他に前頭側頭型認知症・血管性認知症・レビー小体型認知症などさまざまな認知症が存在します。認知機能が低下して一人で日常生活を継続することが困難となることは同一ですが、認知機能の低下を来す原因は認知症ごとに異なります。認知症の薬物療法では、病院で検査を行い、正しい認知症の診断を

定期的に薬を飲むことのできる環境作りについては、認知症外来では患者本人だけでは定期的に薬を飲む習慣を作ることが難しいことがあります。医師が認知症の薬の種類や投与量を決めることは重要ですが、それ以上に定期的に薬を飲むことのできる環境を作ることがなにより大切となります。同居する家族がいる場合は家族に服薬支援を依頼し、一人暮らしの場合は服薬カレンダー（薬を入れるポケットの付いたカレンダー）や介護保険サービス（ホームヘルパーや訪問看護）による服薬支援を行います。

以上です。次回（2024年春号）は「認知症の薬物療法②薬の選択」として、アルツハイマー型認知症を例に認知症の薬物療法についてもう少し詳しくお話をさせていただく予定です。

【今後の予定】

認知症研修会

鬱病や発達障害、妄想性障害といった精神疾患と認知症の関係について研修会のご希望を多く頂いておりました。

そこで今回は「精神疾患と認知症」というテーマで、医療・介護関係者向けの研修会を開催致します。

日時 2023年10月27日（金）

15：00～16：30

場所 オンライン方式（ZOOM利用）

事前登録制

事前登録の方法

下記のURLかQRコードを使用して事前登録をお願い致します。

【URL】

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZAsdeCrqz4rHtDw6spASwL0Ll0xCM1dhkzx>

【QRコード】



地域連携会議

関係機関の皆様と認知症に関する意見交換を行う、年1回の定例会議「認知症疾患医療センター地域連携介護」を今年も開催致します。

より機能的な活動ができるよう、模索し続けてまいります。

チームオレンジ

チームオレンジのメンバーとして各地からお声がけを頂いております。

認知症サポーターや関係している皆様と一緒に安心して暮らせる地域づくりにも貢献していきたいと思っております。

医療法人社団 敬仁会 桔梗ヶ原病院
〒399-6461 長野県塩尻市宗賀1295
電話番号 : 0263-54-0012
F A X : 0263-52-9315

桔梗ヶ原病院認知症疾患医療センター
直通電話番号 : **0263-54-7880**
F A X : 0263-54-7881
Eメール : geriatric-medicine@keijin-kai.jp